

# PARTNER

PARTNER

2011.10.15 発行

No. 33

主な内容

- 男女の発想で考える防災
- 今年度 4月改正 男女共同参画プラン
- 今後のイベント情報
- 女性相談室のご案内

発行 はだの市民が創る男女共同社会推進会議

事務局 秦野市役所暮らし安心部人権推進課 秦野市桜町 1-3-2 TEL.0463-82-7618 FAX.0463-82-6793

E-mail jinken@city.hadano.kanagawa.jp



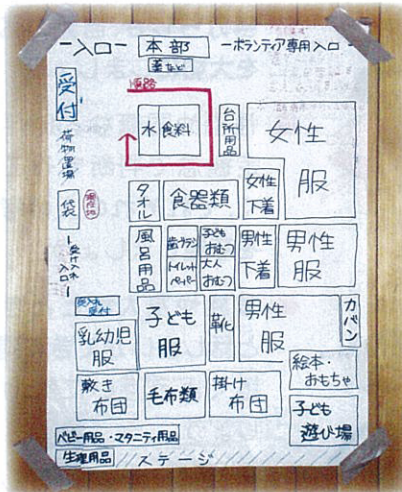
救援物資を仕分けするボランティア

過去の災害の教訓から、被災下の生活で育児・介護などの家庭的責任が女性に集中したり、女性や子どもへの暴力があったことが報告されている。避難所では、限られた空間で多くの人々が集団で生活をする。誰もが、災害弱者になる可能性があり、不便な環境を強いられることが想定される。男女問わず、みんなの安全・安心が確保されたい。被災者が、更なる二次被害を受けることがないような工夫が必要となる。今こそ、自分自身の視点で防災を、考えてみよう。

## 災害時のニーズを 男女の発想で考えよう！

### あなたは どう思う？

- 避難所での炊き出しは、女性だけの担当？
- 男女別の更衣（又は化粧）スペースは必要？
- 女性用洗濯物の干し場は必要？
- 授乳スペース・育児スペースは必要？
- 避難所での女性用の物資の配布や要望の受けは、女性に限る？
- 仮設トイレの設置は、女性や子どもの安全・安心への配慮が必要？



救援物資の見取り図

避難所での炊き出しは、女性だけの担当？

男女別の更衣（又は化粧）スペースは必要？

女性用洗濯物の干し場は必要？

授乳スペース・育児スペースは必要？

避難所での女性用の物資の配布や要望の受けは、女性に限る？

仮設トイレの設置は、女性や子どもの安全・安心への配慮が必要？



災害時には、男女の性別によって直面する悩みや問題は様々である。

男女双方の視点に立ったニーズを幅広く聞き入れることができるようにするためには、避難所の運営等の場に、男性だけでなく女性も参画することが重要である。しかし、緊急時に、突然女性の参画を求められなくても対応できるものではない。いつ起こるか分からない災害に備え、地域コミュニティへの女性の参画を積極的に進めること、男女がそれぞれの役割を担うことの大切さを認識し、日頃からの備えとしていきたい。

### 男女双方の視点を 生かすためには？



届けられたたくさんの救援物資

### 被災地支援 ボランティアの声

3月11日に発生した東日本大震災での被災地におけるボランティア活動の参加者の声をご紹介します。

#### 参加した理由は？

「募金だけでなく、直接現地で支援活動をしたかった」

「何か役に立つことがしたかった」

#### 女性の活動で印象に残ったものは？

「女性が男性と同じ側溝の清掃や瓦礫を撤去している姿を見て、性別に関係なく被災地の復興作業をしている姿が印象的だった」

「地元的女子高生が制服姿で作業している姿が印象的だった」

「現地で中学生やお母さんの姿もあり、感心した」

#### 報道や体験から思ったことは？

「被災地の方々の郷里への愛着、けっしてあきらめないという意志の強さを感じた」

「日頃から隣近所との関わりを大切にし、人間関係を良好に保つことが大切である」

「男女・年齢を問わず、一人ひとりが能力や体力に応じて役割を見出し、柔軟に対応したり協力し合うことが重要である」